

平成 17 年 3 月 31 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 富田 憲介
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 管理部長 西島雄一
電話番号 044 820 8251

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 16 年 5 月 12 日に公表しました平成 17 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

- 1.平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)
(単位:百万円)

	事業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,850～2,300	167～617	95～362
今回発表予想(B)	1,600	91	33
増減額(B-A)	250～700	76～526	62～329
増減比率(%)	-	-	-
前期(平成 16 年 3 月期)実績	1,578	527	297

2.修正の理由

当社は、癌関連遺伝子の探索研究、並びに癌ワクチン、抗体医薬等の創薬研究成果を大手製薬企業等へ提供することによる契約一時金、研究協力金、マイルストーン収入等を事業収益として計上しており、契約締結の成否やその時期により事業収益が変動することから、業績予想には幅を持たせて発表しておりました。

当期におきましては、既存契約からの収益に加えて、平成 16 年 6 月に呉羽化学工業株式会社と膵臓癌の抗体医薬に関する提携契約を新規に締結し、第三四半期まで業績はほぼ計画どおり順調に推移いたしました。製薬企業数社との交渉を現在も継続しているものの、当期中での新たな契約締結が未達成に終わり、まことに遺憾ながら前回発表予想値を下回ることとなりました。なお、製薬企業との提携契約につきましては、創業期においては基礎研究の成果を提供する契約が主でありましたが、当社の将来への発展性を考慮し、自社で、より付加価値を高めた後に導出契約を締結する方向にビジネスモデルを変更しつつあります。

利益につきましては、医薬品候補物質等の創薬研究活動を従来にもまして広範に推進したことによる研究費用の増加、本社や研究所の移転および従来の 3 倍強の広さと最新設備・機器を導入した創薬研究所の開設費用、加えて株式会社抗体研究所との間で抗体医薬導入に関する契約を本日締結し、それに伴う契約一時金の支払いが発生した結果、当初の予想値を下回ることとなりました。

以上